

鈴鹿の風

すずかのかぜ

祝WBC優勝

院長 久留 聡

VOL.
48

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌



新任者の紹介

医学コラム

地域医療連携室だより

名誉院長の部屋「筋ジスの古くて長い話」



祝WBC優勝

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 久留 聡

今年3月に開催されたワールドベースボールクラシック（WBC）では、見事日本が優勝した。WBCにおいて、日本は第1回、第2回と連覇したものの、直近2回は準決勝で涙を吞んでおり、今回は大谷、吉田正尚、ダルビッシュ、ヌートバーなどのメジャーリーガーや、日本の誇る山本由伸、佐々木朗希の両エースもメンバー入りし万全の状態で大谷に臨んだ。下馬評でも日本が圧倒的に有利とされていたが、こういう時ほど実際に勝ち抜くのは難しい。案の定、準決勝のメキシコ戦では先に3点リードされて苦戦を強いられたが、最後は村上の劇的な一打でサヨナラ勝ちを収めた。決勝は宿敵アメリカとの対決となり、9回2死で大谷vsトラウトの同僚対決が見られるなど、見ていてワクワクする夢のような大会であった。

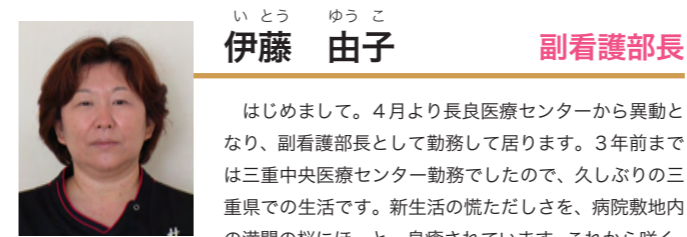
この世界最強の侍ジャパンに練習試合で勝ったのが、昨年最下位に沈んだ中日ドラゴンズである。ネット上ではドラゴンズ最強説が流れ話題となった。捲土重来を期すドラゴンズは、大胆なトレード、助っ人外人の補強、ドラフトでの即戦力内野手の獲得などチーム改革に取り組んでいる最中であり、幸先の良い一勝となった。特に貧打に泣いたチームにあって、この試合で二本のホームランを打ったアキノは、待望の長距離砲として大いに期待を抱かせた。このまま順調に行くかと思われたが、好事魔多し。まず新人内野手の田中幹也が肩を脱臼し戦線を離脱。WBCにキューバ代表として参加していたロドリゲスが亡命。開幕早々にはエース大野雄大が左肘の手術でほぼ今季絶望となった。期待された助っ人外国人は極度の打撃不振で二軍落ちになるな

ど、これでもかと言うほど想定外の事態が続いており、この原稿執筆時点では残念ながら最下位である。ただ、そうそう悪いことばかりは続かないので、この号が出る頃には反転攻勢で快進撃が始まっているものと思われる。

戦線離脱するものがあれば、復帰する者もいる。貴重な左の中継ぎの福敬登投手は、難病の黄色靭帯骨化症から復活し5月5日の巨人戦で見事勝利投手となった。新人の田中幹也内野手も亜細亜大時代に潰瘍性大腸炎を患ったが、昨年のドラフトでドラゴンズに指名されプロ入りを果たした。同じ病気に悩む人たちの希望となれるよう是非頑張ってください。



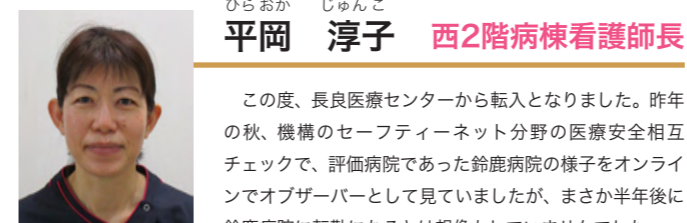
新任者の紹介



いとう ゆうこ
伊藤 由子 副看護部長

はじめまして。4月より長良医療センターから異動となり、副看護部長として勤務して居ります。3年前までは三重中央医療センター勤務でしたので、久しぶりの三重県での生活です。新生活の慌ただしさを、病院敷地内の満開の桜にほっと一息癒されています。これから咲く、ハナミズキの花も楽しみです。

まだまだ、院内で迷子になっておりますが、少しずつ鈴鹿病院を知りながら、患者様に質の高い看護を提供できるよう、働きやすく、生き生きと看護が行える環境を精一杯整えていきたいと思っております。皆様にいるいる教えていただきながら、鈴鹿病院の一員として頑張りますので、どうぞよろしく願いたします。

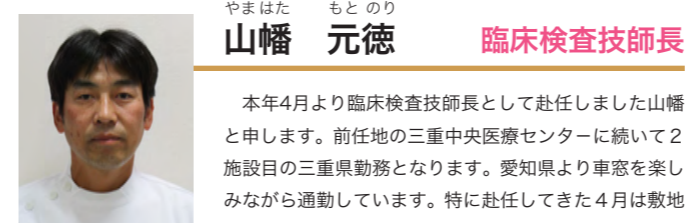


ひらおか じゅんこ
平岡 淳子 西2階病棟看護師長

この度、長良医療センターから転入となりました。昨年の秋、機構のセーフティーネット分野の医療安全相互チェックで、評価病院であった鈴鹿病院の様子をオンラインでオブザーバーとして見ていましたが、まさか半年後に鈴鹿病院に転勤になるとは想像もしていませんでした。

今までは助産師として周産期をメインに、急性期での勤務だったので、セーフティーネット分野の勤務は初めてとなります。多くの患者様やご家族に良い看護が提供できるように、頑張りたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

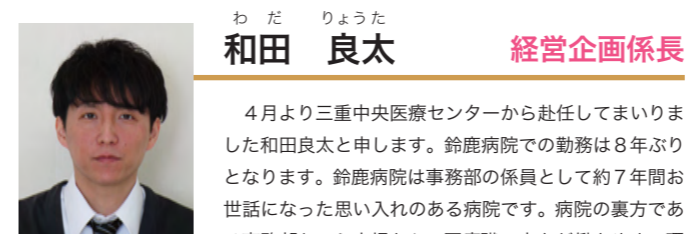
趣味は食べることに旅行です(コロナ禍でなかなか行けません)。美味しいものの情報があれば教えてください。



やまはた もとのり
山幡 元徳 臨床検査技師長

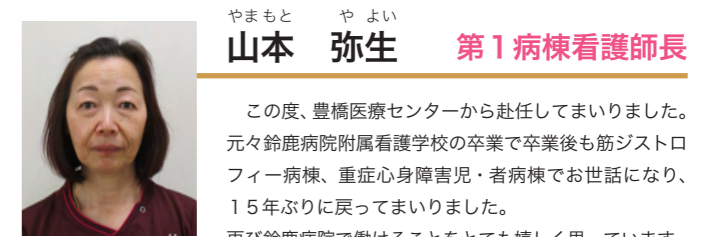
本年4月より臨床検査技師長として赴任しました山幡と申します。前任地の三重中央医療センターに続いて2施設目の三重県勤務となります。愛知県より車窓を楽しみながら通勤しています。特に赴任してきた4月は敷地内の桜も綺麗な環境で驚きました。

色々と不手際な面もあるかと思いますが正確なデータを迅速に届けられるように取り組み、チーム医療の一員として他部署との密な連携をしていきたいと思っておりますのでよろしく願いたします。



わだ りょうた
和田 良太 経営企画係長

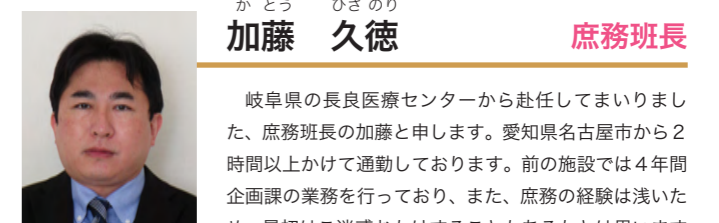
4月より三重中央医療センターから赴任してまいりました和田良太と申します。鈴鹿病院での勤務は8年ぶりとなります。鈴鹿病院は事務部の係員として約7年間お世話になった思い入れのある病院です。病院の裏方である事務部という立場から、医療職の方々が働きやすい環境を整え、患者様の治療に貢献できればと考えております。そのためにも1日も早く業務に慣れて貢献できるように努力いたしますので、みなさまどうぞよろしく願いたします。



やまもと やよい
山本 弥生 第1病棟看護師長

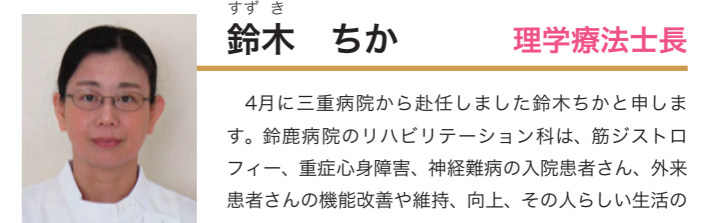
この度、豊橋医療センターから赴任してまいりました。元々鈴鹿病院附属看護学校の卒業で卒業後も筋ジストロフィー病棟、重症心身障害児・者病棟でお世話になり、15年ぶりに戻ってまいりました。再び鈴鹿病院で働けることをとても嬉しく思っています。

神経難病病棟で勤務させていただきます。スタッフと共によりよい看護が提供できるよう尽力いたします。よろしく願いたします。



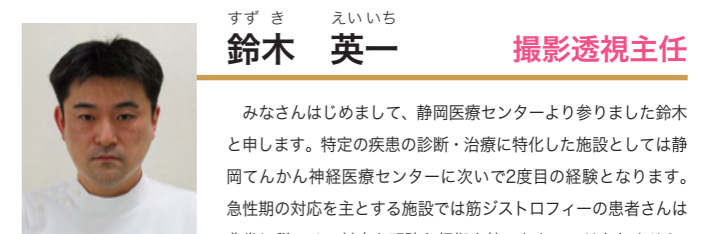
かとう ひさのり
加藤 久徳 庶務班長

岐阜県の長良医療センターから赴任してまいりました。庶務班長の加藤と申します。愛知県名古屋から2時間以上かけて通勤しております。前の施設では4年間企画課の業務を行っており、また、庶務の経験は浅いため、最初にご迷惑おかけすることもあるかとは思いますが、早く職員の皆様のお力になれるよう努力してまいりますので、よろしく願申し上げます。



すずき ちか
鈴木 ちか 理学療法士長

4月に三重病院から赴任しました鈴木ちかと申します。鈴鹿病院のリハビリテーション科は、筋ジストロフィー、重症心身障害、神経難病の入院患者さん、外来患者さんの機能改善や維持、向上、その人らしい生活の支援、ロボットスーツHAL、卒前卒後教育、研究を実施しています。少しでも早く病院に慣れ、貢献できるよう努力してまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしく願いたします。患者さん、スタッフが笑顔で過ごせるよう、皆さんと協力して私もニコニコ笑顔で取り組んでいきたいと思っております。



すずき えいいち
鈴木 英一 撮影透視主任

みなさんはじめまして、静岡医療センターより参りました鈴木と申します。特定の疾患の診断・治療に特化した施設としては静岡てんかん神経医療センターに次いで2度目の経験となります。急性期の対応を主とする施設では筋ジストロフィーの患者さんは非常に稀でその対応も明確な根拠を持ったものではありません。他の施設で筋ジストロフィーの患者さんを受け持った場合でもしっかり対応して後輩へ指導できる様に勉強していきたいと思っております。また「特化した施設」つまり「ルールを作る側」の持つ特有の空気、検査や介助について「なぜそうなったのか？」過去の挑戦や失敗を勉強していきたいと思っております。「鈴鹿病院ではこうやっていた」ではなく「こんな危険があるからやめておいた方がよい」と説明できる様になれたらいいなと思っております。よろしく願いたします。

こじま ともひろ
小島 朋大

三重中央医療センターから赴任してまいりました。筋ジストロフィーや重度心身障害の疾患は初めての経験であり、不安な面もありますが、鈴鹿病院の薬剤師として貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

薬剤師

きとう りょうすけ
鬼頭 良輔

初めまして。理学療法士の鬼頭です。岐阜の長良医療センターで5年間、三重病院で5年間勤務を経験してきました。座右の銘は、適材適所。食べることが大好きな、31歳、3児の父です。これからよろしくお祈ひします。

理学療法士

しも さと よし たか
下里 佳敬

初めまして、沖縄の宮古島にあるハンセン病療養所宮古南静園より異動して参りました。わからない事だらけで何かとご迷惑をおかけしますが、自分にできることを少しずつ増やし皆さんの力になれるようと励んでいきます。

作業療法士

やまうち よし ひで
山内 喜英

この度、機構本部より赴任してまいりました山内と申します。病院勤務は、3年ぶりとなりますので一日でも早く業務に慣れ、鈴鹿病院に貢献できるように頑張ります。どうぞよろしくお祈ひいたします。

契約係

ごとう だ ゆ み
後藤田 有美

静岡医療センターから参りました。初めての異動で戸惑うことばかりですが、これから患者様と楽しく過ごしていきたいです。どうぞよろしくお祈ひ致します。

児童指導員

しみず さ なえ
清水 早苗

4年ぶりに榊原病院から戻ってきました。またよろしくお祈ひします。患者さんに合わせた目線で看護し、笑顔を引き出す関わりが出来ますように頑張ります。

東2階病棟

ます だ り な
増田 理奈

知識と経験を身につけ、栄養士として成長していきたいです。ご指導よろしくお祈ひ致します。

栄養士

はやかわ み さ
早川 未紗

不安な気持ちはありますが、信頼される薬剤師になれるように頑張ります。

薬剤師

もり かわ しょうへい
森川 翔平

静岡から参りました森川翔平です。それぞれの患者様の生活を考えたエビデンスのある理学療法が提供できるよう、人との繋がりを大切にするとともに、日々知識や技術を高めて参ります。

理学療法士

はやかわ ま お
早川 真生

初めてのことばかりでご迷惑をおかけするとは思いますが一生懸命頑張ります。よろしくお祈ひいたします。

庶務係

いなもり たつ や
稲守 達也

看護師5年目の稲守達也と申します。以前は精神科で勤めていました。不慣れなことばかりでご迷惑をおかけするとは思いますが、御指導の程よろしくお祈ひいたします。

第1病棟

たなか ゆう
田中 佑

患者さんに寄り添った看護を心がけ頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈ひ致します。

西1階病棟

たなか まな み
田中 愛珠

患者様の生活史や価値観を大切にしながら、今後の望む生活や希望に寄り添い、日々の生活に変化や彩りを与えらえるような看護師になりたいです。ご指導、ご鞭撻の程よろしくお祈ひします。

第1病棟

かわべ みれい
川邊 美怜

初めてのことで、不安になることもありますが、患者様1人1人に寄り添った看護が出来るように精一杯頑張っていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

第1病棟

にしお り え
西尾 理恵

患者さまが安心して入院生活を送れるように温かい看護の提供に努めます。何かと不慣れでご迷惑をお掛けすることも多いと思ひますがご指導のほど宜しくお祈ひ致します。

東1階病棟

なかむら もも な
中村 桃菜

新しい環境で働くにあたって不安もありますが、患者さん1人1人に寄り添った看護ができるように頑張ります。

西1階病棟

わきた み さ き
脇田 実彩希

1人ひとりの患者さんに寄り添い個性のある看護をしていきたいです。初めてのことで緊張していますが精一杯頑張るのでよろしくお祈ひします。

東2階病棟

たかはし さ き
高橋 紗希

小さな変化や反応に気づける看護をしたいです。笑顔や思いやりのある気持ちを忘れず頑張りたいです。

西2階病棟

かわ みつ あや
川満 彩

至らない点も多いと思ひますが、精一杯皆様のサポートをさせていただきます。よろしくお祈ひいたします。

事務助手

新任者の紹介



医学 コラム

～デリバリーのお話～

脳神経内科 南山 誠

今は新型コロナ下火の時ですが、流行の波高いときに患者さんを守るべくPCR検査と感染対策のために夜遅くまで残って奮闘している職員さんが何名かおられました。食事も摂れず頑張っている皆さんを励ますために何かできることはないかと考



え、患者さんには申し訳ないのですが、あつあつジューシーのピザの出前を頼もうと考えたのです。しかし、なんと、加佐登は鈴鹿市街のピザ屋さんから遠く離れすぎていて配達不可能なエリアとなっていることがわかりました。

とても残念でしたが、これと同じようなことが脳の治療薬開発についても起こっているのです。脳は、血管を通ってきた物質が脳内に安易に入り込まないように脳血液関門（英語の頭文字をとってBBBと言います）という関所を設けています。このBBB（ビービービー）、諸刃の剣みたいなところがあり有毒な物質から脳を守る重要な機能を持っている。一方で、困っている脳を助けるため



に薬を届けようとしてもこの関所が邪魔になり薬が脳に入っていないため薬の開発の障壁になることがよくあるのです。効果があっても脳に届かないのです。最近の脳神経内科の薬では、この脳血液関門の問題を避けるために腰の骨の間から注射針を刺して、脳に直接薬が届けられる脳脊髄液に投与するものが出てきています。一般に、脳血液関門は油に溶けやすく（脂溶性、）粒の小さい（低分子）のものが通過しやすいことがわかっていますが、これに該当しない薬を脳内へ届けるために、脳血液関門の持つ特別な輸送システムを利用した研究が行われて

います。薬は飲み薬、貼り薬のようにできるだけ簡単に安全に投与できて治すべき場所にしっかり届けられることができると一番良いのですが、難病多い脳神経内科、投与法を問わず有効な治療薬がとにかくたくさん、たくさん出てくることも重要です。

最後に再びピザの話ですが、出前をあきらめきれずに亀山地区からの配達も検討したのですが、これまたなんと加佐登まであと数km足らずを残してエリア外であることがわかりました。本当に悔しい。結局、病院近くのセブンイレブンでお弁当を何種類か買って頑張っている職員の方皆さんにお届けしたのです。どうもお疲れ様です。



地域医療連携室だより

鈴鹿病院では神経筋難病の方の長期療養入院やレスパイト入院の利用受け入れをおこなっています。

最初から長期的なご入院ではなく、当院の入院環境に慣れていただくために、まずはレスパイト入院のご利用をお勧めしています。また患者さんが“今後どのように生活したい”のか。患者さん自身のご意思を最も大切にしたいと考えています。

＜受診・予約までの流れ＞

- ①診療情報提供書（紹介状）をかかりつけの先生に依頼
- ↓
- ②当院地域医療連携室（下記連絡先）に送付
- ↓
- ③当院より外来受診日時をご本人・ご家族に連絡後、外来受診
- ↓
- ④入院予約（初回はお試し入院のご利用をお勧めします）



＜長期入院ご希望の場合＞

ご本人の入院のご意思を確認させていただきます。患者さん本人が今後どのような入院生活を送りたいか等の希望があれば診察時に伝えてください。なお、様々な手段を用いても本人が意思表示できない場合は、ご家族、法定後見人が本人に代わってご意思を伝えてください。

まずは当院地域医療連携室・医療福祉相談室へ相談してください。今後とも鈴鹿病院をよろしく願いいたします。

《新任者の紹介》

はじめまして、昨年の11月1日付で地域医療連携室に事務助手として配属になりました駒田容子と申します。伊賀市出身で、前職はクリニックで主に受付業務を担当していました。

趣味は愛犬との公園巡りです。季節を感じながらの散歩は気分転換となる大切なひと時です。おすすめの公園があればぜひ教えて頂ければ嬉しいです。

皆さまに求められることに的確に対応できるよう、コミュニケーションを大切に仕事に貢献したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



お問い合わせ

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院 地域医療連携室 医療福祉相談室

電話：059-378-1321(代) FAX：059-379-6670（直通） お問い合わせ時間：平日8:30～17:15

名誉院長の部屋

筋ジスの古くて長い話

名誉院長 小長谷 正明

もう、20年前以上もですが、札幌の講演会で、国立歴史博物館長の佐原眞先生とご一緒に歓談しました。

「銅鐸は楽器です。大陸から日本に騎馬民族などは来ませんでした。耶馬台国は来ませんでした。耶馬台国は大和地方です。皇室の方々、日本の貴人は伝統的にみな弥生顔で、稚子妃殿下（現皇后）は例外的に縄文顔です。」

などと、いかにも考古学の大家らしい興味深いお話を伺いながら食事をしました。そして、次のように仰いました。

「縄文人は優しかったのですよ。近く貝塚から出た人骨ですが、重い身体障害者で、成長するまで介護されていたのです。手足の骨が左右とも細いのです。ポリオ（小児麻痺：流行性灰白質炎）という話ですが、私の子どもの頃、小児麻痺の友だちは片足だけでしたけれどね。DNA分析で病気を確定できる学者はいませんかね。」

それで、僕は神経内科医らしく答えました。「左右の手まで麻痺したようなポリオなら、呼吸筋もやられて、すぐに亡くなった筈です。やがて、古人骨のDNA分析ができるかもしれませんね。」

鈴鹿病院に帰り、早速調べると、札幌医大の鈴木隆雄先生の文論がありました。北海道蛇田町の入江塚古墳で



図1 成長できた縄文時代障害者の古人骨レプリカ（国立科学博物館）

1966年の発掘された縄文時代後期の人骨です。洞爺湖や有珠山の辺りで、縄文人も絶景を眺めながら暮らしていたのかもしれない。

論文の写真をみると、確かにひどい骨萎縮で、成熟具合から十歳代後半と推定されていました。発達の悪い顎をした頭骨と、異常に細い手足の骨。とりわけ大腿骨がひどく、上腕骨や脛骨よりさらに細く、普通の人骨が孟宗竹ならば弱（なよ）竹どころか葦のような頼りなさです。手足の骨に筋肉付着する粗面は不明瞭で、筋肉がほとんど無いと推定され、下顎骨の筋粗面も弱く、咬筋も悪かった。華奢だが、性別判定は不能とのこと。これは、一部の手足が障害されたポリオではなく、全身の筋肉が萎縮するパターンの骨格です。

佐原先生が言うように、幼児期から手足の筋肉が悪い人が、二十歳前後までは生きていたのです。手足の筋肉はまったくなきに等しく、歩くことも立つこともできず、食事も口に運んで貰ったのしょう。顎も弱くて、食べやすいメニューにと、日常生活のすべての面でケアしてもらい続けなければ、その歳まで生きられなかった筈です。



図2 古代エジプトの筋障害女王と（ハシェス葬祭殿、古代エジプトの筋障害 BC1,500 BC1,500）

では、病気は何か。縄文時代の古人骨だけでの診断は勇気がいりますが、全身骨の萎縮パターンからすれば、筋ジストロフィー（筋ジス）も考えられます。昨年のノーベル賞受賞者のバンテー・ペーボ博士は、ネアンデルタール人のDNA解析をしました。やがて、この縄文時代の骨も分子生物学的解析をされて、病気が分かるかもしれません。

この古人骨レプリカは、東京上野の国立科学博物館に展示されています（図1）。

私たちの鈴鹿病院のセイフティネット系医療の柱一つ、筋ジス医療スタートの経緯は先回の”鈴鹿の風”で紹介しました。では、筋ジストロフィーとはどういう意味でしょうか。僕が初めてこの病名を知ったのは医学部生の時でしたが、炎症でも、腫瘍や血管障害でもなく、正直なところ、何のことも全然わかりませんでした。その後も意味不明なまま、大病院やこの鈴鹿病院でも筋ジス、筋ジスと言いつけてきましたが、改めて勉強してみました。1891年にドイツのエルプ先生によって進行性筋ジストロフィーの病名が提唱され、直訳すると進行性筋栄養症であり、筋肉の発達障害の意味でした。筋の変性壊死を主体とする、進行性の遺伝性疾患というのが、今日のご概念です。筋ジスと総称される多くの病気では、筋肉細胞の膜や細胞骨格をホッチキスのようにつなぎとめるジストロフィン軸という装置が



図3 デュシェンヌの著書挿絵。明な仮性肥大のDMD幼児と、筋組織の顕微鏡像。

きちんと作られず、運動などの衝撃で筋肉が壊れてしまうのです。

では、いつ頃からあった病気でしょうか？日本が縄文時代であった紀元前1500年頃の古代エジプトには、軀幹の筋が障害された母と娘の壁画があります（図2）。アラビア海に面したプント国から金や香料を貢ぎに来た女王と王女です。壁画の報告者はベッカー型筋ジスで有名なベッカー先生ですが、この母娘はベッカー型ではなく、女王の著しい腰椎前弯と顔貌などから、顔面・肩甲・上腕型筋ジストロフィー（FSH）の可能性が指摘されています。

しかし、その後は18世紀に至るまで、医学にも芸術分野でも、筋ジスの記述や表現は残されていません。この時期、人々の死因は、ペストや天然痘などの感染症、戦乱などでの横死、飢餓などで、障害児たちは十分育たなかったのでしょう。やっと、今から二百年前の19世紀前半になって、イギリスやイタリアなどから筋ジスらしい症例がちらほら報告されはじめました。

筋ジスについてのまとった報告は、1851年にイギリスのメリオン先生が最初です。すなわち男の子のみに幼少期に進行性の筋障害が発症して、死亡例の検討では、全身の筋肉が萎縮し、筋肉の色には正常の深い赤味はなく、顕微鏡検査でも横紋の基本線維は完全に破壊されていて、脂肪細胞に置き換わっ

ている。でも、神経系組織は全く正常で、筋組織のみが異常でした。

その頃、フランスでは、デュシェンヌ先生がこの病気を研究しています。先生はドーヴァ海峡を挟んでイギリスに面したブローニュで生まれ、パリ医学を学びました。お父さんは海軍士官で、そこで戦争相手のイギリス侵攻に備えていたのですが、ナポレオンに敗れた後もそのまま居着いたのです。実は、僕の父も海軍士官で、敗戦後は太平洋に突き出た千葉の銚子で過ごしました。隣町はホノルルで、僕はそこを出て名古屋で医学の勉強をしました。だから、なんとなく、デュシェンヌ先生には親しみを覚えます。

先生は1858年に、当時は仮性肥大麻痺と言われた、筋ジスの患者を診察します。その症例は幼少時に下肢筋力低と仮性肥大で発症し、7歳までに腰椎の前弯が起り、13歳半までには全ての動作ができなくなり、15歳で呼吸不全にて死亡しました。また、自ら生検針を工夫して筋肉を採取して顕微鏡で調べ、筋線維の障害過程を明らかにしました。これらのことを1868年に”Paralysie musculaire-Pseudohypertrophique”（筋肉麻痺一仮性肥大）という書名の本を出版したので（図3）、今日、このような疾患は先生の名前を付けてデュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）と、言われるようになっていきます。もっとも、イギリスではメリオン先生が先だとのこと、不満のようですが……。

図4は、電気刺激が顔の表情筋に及ぼす試験をしているデュシェンヌ先生

です。筋肉の電気現象がわかり始めた頃で、当時の先端医学研究でした。今日の先端研究の分子生物学が、筋ジスのDNAから急発展したことを考えると、感慨深いですね。

日本での最初の筋ジスの報告は1887年で、明治維新後の文明開化の時代です。ドイツで医学を学んだ橋本綱常のドイツ語の論文です。7歳の処女歩行がない知恵遅れの女兒で、日本特有の福山先天性筋ジスの可能性があります。このタイプは縄文時代日本人の誰かに遺伝子の突然変異がおき、やがて時を経て子孫同士が結婚して不幸な赤ちゃんが発症すると言われています。

DMDの日本で初報告は1888年で、1892年には長田喜太郎先生が発症性起立のスケッチを発表しています（図5）。

しかし、世界も、日本も筋ジスの医学的解明や治療法が劇的に進歩するには、それから百年以上も時間が必要でした。



図4 表情筋の電気刺激をするデュシェンヌ先生。生体の電気反応の解明は当時の先端医学のテーマだった。

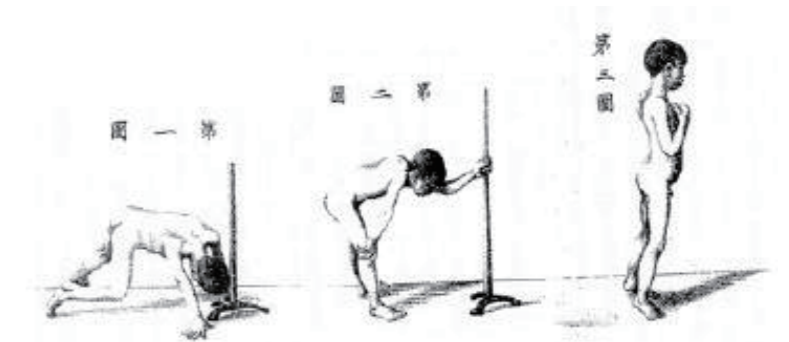


図5 杖を使った登攀性起立。昔からこうして闘病していた筋ジス患児がいたのだ。胸が熱くなる。（長田喜太郎（1892）原図改変）

外来診察担当表 (2023年6月1日現在)

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------------|--------|--------------|----|--------|--------|
| 脳神経内科 | 小長谷 | 酒井 | 久留 | 小長谷 | 久留 |
| | 木村 | 南山 | | | |
| 内科 | 野口 | 野口 | 牧江 | 落合 | |
| | | 落合 | | | |
| 小児科 | | 予約 | | | 予約 |
| 整形外科 | | 田中 (装具外来) | | | 田中 |
| リハビリテーション科 | | 田中 | | | 田中 |
| 皮膚科 | | 予約(午前) | | | 予約(午後) |
| 歯科 | 磯村(午前) | 山田(午後) | | 永田(午後) | |
| 禁煙外来 | 野口 | | | 落合 | |

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越しください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩15分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車15分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



編集後記

衣更えの季節を迎え、初夏到来となりました。少し前に新型コロナウイルス感染症も2類相当から5類となり、社会もコロナ禍前の賑わいに戻りつつあり、通勤電車の中でもマスクを着用していない方をちらほらと見かけます。このまま普通の生活に戻ることを切に願うばかりのこのごろです。梅雨の季節となりじめじめと湿っぽい毎日ですが、気持ちだけはカラッとさわやかにいきたいですね。

業務班長 加藤泰基

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321(代) Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>